

社会科（公民的分野）学習指導案

1 日時・場所 平成20年〇月〇日（〇）

2 学年・学級

3 単元名 わたしたちの生活と経済

4 単元について

(1) 教材観

現代社会には、多種多様な商品があふれている。その中で、私たちは収入と支出を考慮して、目的にあう商品を、価格を目安にしながら選択し、購入して消費している。こうした消費者の求めている財やサービスを企業は常にリサーチし、より多くの利益を得るための様々な工夫をするなどして生産し、販売競争をしている。また私たち消費者と企業とは流通の仕組みでつながることで、活発な消費活動と生産活動とを行っている。さらに、国や地方公共団体が、消費者の保護、社会資本の整備、環境の保全などを行うことで私たちの経済活動を支えている。このような、今日の経済を動かしているそれぞれの立場や相互の関連について考えさせたり、さらには環境の保全という視点も持って、自分はこれから実際にどのように経済活動、特に消費活動をするかについて考えさせたい。このことが、公共の経済に自ら参画していく資質や能力を育成することにつながると考える。

(2) 生徒観

生徒は意欲的に学習に取り組むことができている。質問や意見を積極的に行う生徒も多く、生徒の意見を手がかりにして授業を展開することが可能である。また、授業で学習した事を自分でまとめる事も出来る生徒が多い。授業中に発言が少ない生徒であっても、書くことを通して自分の意見をまとめることができる。そこで本単元では、学習を通して身に付けた知識や考えてまとめたことを活かして、生徒自身の消費生活を改善し、地域社会での経済活動に主体的に参画できるようにしたい。

(3) 指導観

生徒自身の消費活動について、身近な商品の価格などについて問うアンケートを行い、まとめたり、地域の企業の活動を調べて、まとめさせたりすることを通して、消費者の立場、企業の立場、あるいは国や地方公共団体の立場、これら相互の関連についても考えさせたい。そして、環境の保全という視点を加えることで、主に消費者の立場から、よりよい経済社会の形成に参画する資質や能力を高めたい。

このために、発表や意見交換などの活動を効果的に行いたい。

5 単元の目標

- (1) 消費と貯蓄の基本的な仕組みを理解し、消費活動について考えることができる。
- (2) 消費者の権利と保護について、基本的な知識を理解し、考えることができる。
- (3) 現代経済における流通の基本的な仕組みについて理解することができる。
- (4) 企業による生産の基本的仕組みと企業の果たす社会的責任について考えることができる。
- (5) 環境の保全という視点から、消費者と企業、あるいは国や地方公共団体の立場や相互の関連について考えを深めることができる。
- (6) これからの消費活動について判断し、提案することができる。
- (7) これからの企業の活動について、経営者の立場に立って考えてみるることができる。

6 単元の評価規準

(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断	(3) 資料活用の技能・表現	(4) 知識・理解
<p>身近な事例や資料をもとに、消費活動と生産活動とについて、消費者の立場とともに、企業、あるいは国や地方公共団体の立場に立って意欲的に考えることができている。</p> <p>経済活動と環境の問題とのかかわりについて関心を持つことができている。</p>	<p>消費活動と生産活動とについて、消費者の立場とともに、企業、あるいは国や地方公共団体の立場に立って相互の関連について考えたり、環境の問題も踏まえて考えたりして、公正に判断することができる。</p>	<p>消費者、企業、あるいは国や地方公共団体の経済活動について、情報を収集しわかりやすくまとめ、発表することができる。</p> <p>消費者の消費活動について、自分の意見をわかりやすくまとめることができる。</p>	<p>消費者、企業さらに国や地方公共団体の経済活動にかかわる基本的知識を身に付けている。</p> <p>環境の問題も踏まえて価格の果たす役割について理解している。</p>

7 指導と評価の計画（全8時間）

- (1) 消費と貯蓄 … 1時間
- (2) 消費者の権利と保護 … 1時間
- (3) 流通のしくみ … 1時間
- (4) 生産のしくみ … 2時間
- (5) 消費活動と環境 … 2時間（本時は、2時間目）
- (6) ハンバーガーショップの経営者になってみよう … 1時間

8 本時の目標

- (1) 環境の保全という視点から、消費者と企業、あるいは国や地方公共団体の活動について調べ、理解を深めるとともに、意見交換をして相互の関連について考えることができる。
- (2) 環境の保全のために、企業などの立場も踏まえて、消費者としてどのような消費活動ができるかを考え、まとめることができる。

9 本時（含む前時）の指導過程と評価

(1) 前時

	学習内容・学習活動	指導(●)・支援(○)	評価規準	評価方法
前時	<p>◎これまでに学習した知識や概念について復習する。</p> <p>◎環境の保全が、今日の社会全体で取り組むべき課題であることを認識する。</p> <p>◎各自が家庭で調べてきた、消費者、企業、国・地方公共団体、それぞれの環境の保全に対する取り組みについて、班内で話し合い、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような取組をしているか。 ・環境に取り組むことでどのような（経済的な）利点があるか。 ・逆に（経済的な）負担となることはないか。 	<p>B4の記録用紙にまとめさせる。(●)</p> <p>後で印刷して資料とすることを伝える。(○)</p>	<p>基本的な知識や概念を習得している。</p> <p>積極的に話し合っている。</p> <p>情報を集約し、わかりやすくまとめている。</p>	<p>ノート 【知識・理解】</p> <p>行動観察 【興味・関心】 ワークシート ②及び③ 【技能・表現】</p>

	※各班の主な担当 ・A班…消費者（アンケート） ・B班…消費者（アンケート） ・C班…企業（オタフクソース） ・D班…企業（マツダ） ・E班…行政（環境省） ・F班…行政（広島市）	
--	--	--

(2) 本時

	学習内容・学習活動	指導(●)・支援(○)	評価規準	評価方法
導入	<p>◎これまでの学習における基本的な知識と概念について確認する。 家計 消費支出 貯蓄 商品の選択 消費者主権 流通 流通の合理化 資本主義 経済 資本 利潤 株式会社 価格 環境問題</p> <p>◎前時で作業したことを確認し、発表の方法を確認する。</p>		<p>基本的な知識や概念を習得している。</p>	<p>ノート ワークシート ④ 【知識・理解】</p>
展開	<p>◎班ごとに、消費者、企業、国・地方公共団体、それぞれが環境の保全のために取り組んでいることについて発表する。</p> <p>◎また、それぞれの立場から、他の立場への要望や協力してほしいことは何かを考える。 ・消費者から企業へ…価格が上がるのは困る。品質をよりよくしてほしい。 ・企業から消費者へ…簡易包装に協力してほしい。価格が高くなっても協力してほしい。 ・国・地方公共団体から消費者や企業へ…環境税を取り入れたい。自分のことだけではなく、もっと経済全体を見て考えてほしい。 ・企業・消費者から国・地方公共団体へ…補助金を導入してほしい。環境税はやめてほしい。</p> <p>◎それぞれの課題解決の方法（それぞれがどうすればいいか、どう考えればいいかなど）を考え、発表し合う。 ・面倒なことでも、やれば所得や</p>	<p>教師で進行する。(●) 必要に応じてグループごとで話し合う時間をとる。(○) 1グループ2分をめやすに発表させる。(●)</p> <p>相互の関連とともに、経済全体の視点からも考察ができるように支援する。(○)</p> <p>解決方法について、2班ずつ分担して考える。(●) 相互の関連だけでなく、経済全体の視点から</p>	<p>習得した知識や概念を用いて、わかりやすくまとめている。 わかりやすい発表をすることができている。</p> <p>相互の関連について考えることができている。</p> <p>経済全体の視点から、課題について多面的・多角的に考えることができている。</p>	<p>発表内容 ワークシート ③ 【思考・判断】 【技能・表現】</p> <p>ワークシート ③ 【思考・判断】</p> <p>行動観察 発表内容 ワークシート ④ 【思考・判断】</p>

<p>展 開</p>	<p>利潤が得られるようなしくみがあれば普及する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格については、企業の生産や販売の工夫で、抑えられる。 ・再生商品も価格を安くできれば購入量（販売量）が増える。 ・環境問題が深刻になったら、もっと多額の負担が企業にも社会全体にも必要になる。 ・このまま大量消費を続けたら社会全体の資源がすぐ枯渇する。 	<p>も考察ができるように支援する。(○)</p> <p>発表用紙に書き込み、発表させる。(●)</p> <p>各班の発表を踏まえ、それぞれの立場についてや、価格や環境の保全などの視点から考察が深まるように支援する。(○)</p> <p>三者が、理解し合い、それぞれが歩み寄ることが必要であることに気付かせる。(●)</p>	<p>わかりやすく、発表することができている。</p>	<p>【関心・意欲】 【技能・表現】</p>
<p>ま と め</p>	<p>◎今後、環境の保全のために、どのような消費活動をしていきたいか。自分の意見を、本授業のはじめに復習した語句を用いてワークシート④にまとめる。</p>	<p>環境の保全という視点から、企業や国などの要望などもふまえて、消費者として自分は「どのような消費活動をするべきか」について考えさせる。(●)</p> <p>ワークシートへの記入方法について補足説明する。(○)</p>	<p>これまでに学習した知識・概念を適切に活用している。</p> <p>自分の消費活動についての意見としてまとめることができている。</p>	<p>まとめ ワークシート④ 定期テスト 【関心・意欲】 【思考・判断】 【技能・表現】</p>